

# 第1回富山県入札契約適正化検討委員会 議事概要

日時 平成19年2月9日(金) 13:00~15:00

場所 富山県民会館704号

出席者 委員 西頭委員(委員長)、安部委員、石田委員、柿澤委員、藤田委員、山本委員  
県 石井知事、埴生土木部長、前田管理課長、井波建設技術企画課長、  
四谷営繕課長、石田農林水産部参事、下村農林水産企画課長、立花耕地課  
長、霜上企業局経営管理課長 他

## (議事概要)

### 1 知事あいさつ

### 2 委員長等選出

- ・委員長に西頭委員を互選

### 3 事務局から資料に基づいて説明

(1)公共工事の入札・契約に関する現状等について

(2)検討課題について

- ・一般競争入札の拡大と地域要件の設定
- ・総合評価方式の拡充
- ・著しい低入札に対する対策

(3)その他

### 4 主な意見

#### ○公共工事の入札・契約に関する現状等について

- ・特になし

#### ○検討課題について

##### 一般競争入札の拡大と地域要件の設定

- ・2000万円から5000万円の部分の地域公募型と通常型指名競争を分ける基準は何か。  
→工事の特性に応じて設定している。

- ・公共工事は地場産業の育成も目的としているが、その機能は指名競争入札にある。地域の安全安心を支える地元の建設業の存続は当然必要だ。

##### 総合評価方式の拡充

- ・総合評価方式の仕組みは大変結構だが、総合評価方式を拡大すると人員削減の中、対応できるのか。  
→事務量の増加が大きな課題。事務量の増加と整合性を取りながら対応していく必要がある。
- ・指名競争入札から一般競争入札に移行すると、不良不適格業者の排除が課題となる。  
この課題に対応する手段として、総合評価方式を活用すればどうか。
- ・除雪を支えている地域の業者をどう確保していくのか考えていく必要がある。このた

め、地域性をどの程度評価に反映させるかという問題もある。

#### 著しい低入札に対する対策

- ・ 数値判断基準の設定はなかなか難しい。

#### ○事務連絡

- ・ 第2回の会議は3月20日に開催する予定。

(以上)